

ゾウから教わる森の大切さ

＝手引き＝

このプログラムでは、ゾウの特徴や暮らし、ゾウがどのように人や他の生き物と関わり合いがあるのか、生き物が暮らしている森の役割、森が減っていること、今後私たちがどのように行動したらいいのかを学び考えるものになっています。

学習手順

<まず初めに>

ワークシートは児童・生徒の知識の変化、気づきや理解等を主に児童・生徒自身が認識するものであるため、学習前の知識で事前ワークシートを記入してもらい、「ゾウから教わる森の大切さ」を受講後に改めてゾウの姿や特徴、生息環境などを振り返りワークシートに記入してもらいます。事前と事後を比較することでイメージの違いなどを認識することができるようになります。

<目的>

- ①正しい知識を獲得し、自分の知識を更新する。
- ②自分の考えを他人と共有することで、自分と他人の感覚の違いを認識し
他人の意見を受け入れ、自分の意見と併せて新しい意見を得る。
- ③自分でもっと詳しく調べたいことを探し出し、次の学びへつなげることができる。

<事前ワークシート>所要時間約 10 分（学校で行う際の所要時間はお任せします。）

ねらい：学習前の児童・生徒の知識を確認する。

ポイント：現段階での知識でゾウや森についての考えや意見を知るため、調べ学習は不要です。事前と事後の変化をより感じるため、事前ワークシート記入後に調べ学習を行うことをおすすめします。

- ①事前ワークシートでみんなが思い描くゾウの姿や暮らしている環境を絵や文章で書いてもらい、児童・生徒がゾウや生息環境にどんなイメージを持っているのかを確かめてください。
- ②気になるゾウのすごいところ（長い鼻、大きな耳、大きな牙等）を書いてもらいます。
- ③気になるすごいところがどうしてすごくなったのかを考え、書いてもらいます。
- ④森が無くなると何が起きるのか、書いてもらいます。

※事前ワークシートは、正しいかどうかよりも、イメージを持っているかどうか大切です。



<円山動物園での講義>所要時間約 30 分

ねらい：ゾウの生態や地球環境・ゾウ・ヒトがどのように関係しているのかを学ぶ。

ポイント：談話型で進行します。講義を聞きながら知りたいことや気になる事を見つけましょう。

- ①事前ワークシートで記入した内容を発表してもらいながら、ホッキョクグマや環境問題について学んでいただきます。



<ふりかえりワークシート>所要時間約 15 分（学校で振り返る際の所要時間はお任せします。）

ねらい：学んだことから自分の知識がどのように変化したのか、気づいた事や分かった事を確認します。

新しい疑問を考え見つけることで次につながる学びの準備をする。

ポイント：事前と事後で自分の考えを比較しますが、大事なことは自分の意見を考えて書く、そして発表できることです。

- ①講義を受けた後に振り返りワークシートに気づいた事、ゾウや暮らしている環境のイメージを描いてもらいます。
- ②森の役割を書いてもらいます。講義内での役割だけでなく、みんなが考える役割を書いて大丈夫です。
- ③森が無くなると何が起きるのかを書いてもらいます。
- ④ゾウや森を守るために自分たちは何が出来るのかを書いてもらいます。
- ⑤「講義の内容をもっと深く知りたい」や「他の動植物はどうなんだろう」等の何か知りたいことがあれば書いてもらいます。これから新しい学びへの繋がりを作ります。

振り返りでは事前と事後で何が変わったのかを確かめてください。ゾウの姿をより正確に描くことができたり、環境問題への意識が高まった意見等を確認することができるでしょう。



<最後に>

私たちがゾウや森を守るためにどのような行動をしたらいいのかをグループで話し合っ、みんなの考えを組み合わせ、クラス内で発表等を行い、意見を共有しましょう。

※事前ワークシートと振り返りワークシートの返送のご協力をお願いしています。返送は庁内メールや FAX、メール等が可能です。お送りいただきましたワークシートは円山動物園が実施する今後の環境教育事業の質の向上のため、内容を確認し、プログラム内容の改善に使用いたします。

札幌市円山動物園 飼育展示課 飼育総括係
住所：札幌市中央区宮ヶ丘 3 番地 1
FAX：011-621-1428
Eメール：maruyamazoo-soukatsu@city.sapporo.jp